

の利用に支障に及ぼさないと認める場合に限り、同項の許可を与えることができる。ただし、当該行為による都市公園の利用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第14条第3項第5号において単に「暴力団」という。）の利益となると認められる場合は、この限りでない。

3 知事は、第1項の許可に都市公園の管理のため必要な範囲内で条件を附することができる。

（休業日及び利用時間）

第5条 公園施設の休業日及び利用時間は、別表第2のとおりとする。ただし、知事は、必要があると認めるときは、臨時に休業日に営業し、若しくは休業日以外の日に休業し、又は利用時間を変更することができる。

第6条 削除

（利用の禁止又は制限）

第7条 知事は、都市公園の保全のため必要があると認めるときは、その利用を禁止し、又は制限することができる。

（許可の取消し等）

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、この条例の規定によつてした許可を取り消し、その効力を停止し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復その他必要な措置を命ずることができる。

- 一 この条例の規定又はこの条例の規定に基づく処分に違反した者
- 二 この条例の規定による許可に附した条件に違反した者
- 三 偽りその他不正な手段によりこの条例の規定による許可を受けた者
- 四 第4条第2項ただし書に規定する場合に該当する者

2 知事は、次の各号の一に該当する場合においては、この条例の規定による許可を受けた者に対し、前項に規定する処分をし、又は同項に規定する必要な措置を命ずることができる。

- 一 都市公園に関する工事のためやむを得ない必要が生じた場合
- 二 都市公園の保全又は公衆の都市公園の利用に著しい支障が生じた場合
- 三 前各号のほか、公益上やむを得ない必要が生じた場合

（使用料等）

第9条 法第5条第1項、法第6条第1項若しくは第3項若しくは第4条第1項の許可又は第14条第1項若しくは第2項の承認(山梨県芸術の森公園の利用に係るものに限る。)を受けた者は、次に定める使用料を、規則の定めるところにより納付しなければならない。

ならない。

一 第4条第1項各号に定める行為の場合又は工作物その他の物件若しくは公園施設の利用等(以下この号において「行為又は利用等」という。)については、別表第3に定める額(当該行為又は利用等が消費税法(昭和63年法律第108号)第4条第1項に規定する資産の譲渡等に該当し、かつ、同法第6条第1項の規定により消費税の非課税のものに該当しないときは、当該行為又は利用等について同表に定める額に100分の108を乗じて得た額)

二 第14条第1項又は第2項の承認を受けた利用については、別表第4に定める額

2 知事は、公益上必要があると認める場合においては、前項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

3 既に納付した使用料は、還付しない。ただし、許可を受けた者の責に帰することのできない理由によつて当該許可に係る行為をすることができなくなった場合においては、その全部又は一部を還付するものとする。

第3章 指定管理者による管理

（指定管理者による管理）

第10条 知事は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、知事が指定する法人その他の団体(以下「指定管理者」という。)に別表第5の上欄に掲げる都市公園の管理を行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第11条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- 一 公園施設及び設備器具の維持保全に関する業務
- 二 有料公園施設の利用の承認に関する業務
- 三 別表第五の上欄に掲げる都市公園ごとに、それぞれ同表の下欄に定める業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、知事が必要と認める業務

（指定の手続）

第12条 指定管理者の指定を受けようとするものは、規則で定めるところにより、申請書に事業計画書その他の書類を添付して、知事が定める日までに知事に提出しなければならない。

2 知事は、前項の規定による申請書の提出があつたときは、次に掲げる基準により指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定するものとする。

- 一 事業計画の内容が、都市公園の効用を発揮することができるものであること。
- 二 事業計画の内容が、都市公園の適正かつ効率的な管理を図ることができるものであること。

三 事業計画の内容が、都市公園の平等な利用を確保することができるものであること。

四 事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人的能力及び経理的基礎を有していること。

(指定管理者の管理する公園施設の休業日及び利用時間)

第13条 第5条ただし書の規定にかかわらず、指定管理者が管理する公園施設にあつては、指定管理者は、知事の承認を受けて、臨時に休業日に営業し、若しくは休業日以外の日に休業し、又は利用時間を変更することができる。

(利用の承認等)

第14条 有料公園施設を利用しようとする者は、指定管理者の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者が当該承認に係る有料公園施設内に第3条第5号の広告を表示しようとする場合は、指定管理者の承認を受けて同号の広告を表示することができる。

3 指定管理者は、前2項の規定により利用の承認を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、承認しないものとする。

一 公の秩序又は善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき。

二 施設又は設備器具を損傷するおそれがあると認められるとき。

三 宿泊施設にあつては、衛生上支障があると認められるとき。

四 前三号に掲げる場合のほか、管理上支障があると認められるとき。

五 その利用が暴力団の利益となると認められるとき。

4 第1項又は第2項の承認(山梨県芸術の森公園の利用に係るものを除く。)を受けた者は、第16条第2項の規定により指定管理者が定める利用料金を納付しなければならない。

(承認の取消し)

第15条 有料公園施設を管理する指定管理者は、当該有料公園施設を利用する者が前条第3項各号のいずれかに該当すると認めるときは、同条第1項又は第2項の承認を取り消すものとする。

(利用料金等)

第16条 第14条第4項の利用料金は、指定管理者の収入とする。

2 前項の利用料金の額は、別表第6に定める額の範囲内において、知事の承認を受けて指定管理者が定める。

3 指定管理者は、規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

4 既に納付した利用料金は、還付しない。ただし、有料公園施設を利用する者の責に帰することができる

ない理由によつて利用できなかつた場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(事業報告書の作成及び提出)

第17条 指定管理者は、毎年度終了後二月以内に、次に掲げる事項(山梨県芸術の森公園を管理する指定管理者にあつては、第三号に掲げる事項を除く。)を記載した事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。ただし、年度の途中において指定管理者の指定を取り消された場合にあつては、その取り消された日から二月以内に当該年度の当該日までの事業報告書を提出しなければならない。

一 第11条各号に掲げる業務の実施の状況

二 都市公園の管理の業務に係る収支の状況

三 利用料金の収入の状況

四 前三号に掲げるもののほか、都市公園の管理の状況を把握するために知事が必要と認める事項

第四章 監督 (省略)

第五章 雑則

(公園施設の設置等の申請書の記載事項)

第24条 法第5条第1項の条例で定める事項は、公園施設の設置又は管理の目的、期間、場所、内容及び方法その他規則で定める事項とする。

2 法第6条第2項の条例で定める事項は、工作物その他の物件又は施設の管理の方法その他規則で定める事項とする。

(軽易な変更事項)

第25条 法第6条第3項ただし書の条例で定める軽易な変更事項は、工作物その他の物件又は施設の主要構造部に影響を与えない構造の一部変更その他規則で定める事項とする。

(都市公園の区域の変更及び廃止)

第26条 知事は、都市公園の区域を変更し、又は都市公園を廃止するときは、当該都市公園の名称、位置、変更又は廃止に係る区域その他必要と認める事項を明らかにして、その旨を告示しなければならない。

(公園予定区域及び予定公園施設についての準用)

第27条 第3条、第4条、第7条から第9条まで、第24条及び第25条の規定は、法第33条第4項に規定する公園予定区域又は予定公園施設について準用する。

(警察本部長への情報提供依頼)

第28条 知事は、次に掲げる場合においては、第4条第1項の許可若しくは第14条第1項若しくは第2項の承認を受けようとする者又は受けた者(当該者が法人である場合には、その役員。次条において同じ。)に関し、山梨県暴力団排除条例(平成22年山梨県条例第35号)第2条第3号に規定する暴力団員等(次条において単に「暴力団員等」という。)

であるか否かについて、警察本部長に対し、情報の提供を求めることができる。

- 一 第4条第1項の許可をしようとする場合
- 二 第8条第1項の規定による第4条第1項の許可の取消し、その効力の停止若しくは同条第3項の条件の変更又は行為の中止、原状回復その他必要な措置の命令をしようとする場合
- 三 指定管理者が第14条第1項の承認をしようとする場合
- 四 指定管理者が第15条の規定による第14条第1項又は第2項の承認の取消しをしようとする場合
(知事への情報提供)

第29条 警察本部長は、前条の規定により情報の提供を求められた場合のほか、その保有する情報により第4条第1項の許可若しくは第14条第1項若しくは第2項の承認を受けようとする者又は受けた者が暴力団員等であると認める場合においては、知事に対し、その情報を提供することができる。

(委任)

第30条 この条例に定めるものを除くほか、必要な事項は、規則で定める。

第六章 罰則

(過料)

第31条 次の各号の一に該当する者に対しては5万円以下の過料を科する。

- 一 第3条の規定に違反して同条各号の一に掲げる行為をした者
- 二 第4条第1項の規定に違反して同項各号の一に掲げる行為をした者
- 三 第8条の規定による知事の命令に違反した者

第32条 偽りその他不正な行為によりこの条例による使用料の徴収を免れた者に対しては、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額以下の過料を科する。

(両罰規定)

第33条 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に関して、前2条の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても各本条の過料を科する。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、昭和39年5月1日から施行する。

附 則 (平成20年条例第15号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。
(経過措置)
- 2 知事は、この条例の施行の日前においても、この

条例による改正後の山梨県都市公園条例第10条及び第12条の規定の例により、山梨県芸術の森公園及び山梨県桂川ウェルネスパークの管理に関し、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者を指定することができる。

附 則 (平成24年条例第26号) 抄

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。
(山梨県都市公園条例の一部改正に伴う経過措置)
- 3 第2条の規定による改正後の山梨県都市公園条例第4条第2項及び第14条第3項の規定は、施行日以後に行われる同条例第4条第1項の許可及び同条例第14条第1項の承認の申請について適用し、施行日前に行われた第2条の規定による改正前の山梨県都市公園条例第4条第1項の許可及び同条例第14条第1項の承認の申請については、なお従前の例による。

附 則 (平成26年条例第34号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1 (第2条関係)

| 都市公園の名称 | 公園施設の種類 |
|-----------|------------|
| 山梨県芸術の森公園 | 茶室及びその附帯施設 |

別表第2 (第5条関係) (省略)

別表第3 (第9条関係)

- 一 (省略)
- 二 法第6条第1項又は第3項の規定により都市公園を占用する場合

| 占用物件 | 単位 | 占用料 | |
|-----------------------------------|---------------------------|--------|--------|
| | | 所在地 | |
| | | 市 | 町村 |
| 第一種電柱 | 1本1年 | 1,000円 | 770円 |
| 第二種電柱 | | 1,600円 | 1,200円 |
| 第三種電柱 | | 2,200円 | 1,600円 |
| 第一種電話柱 | | 930円 | 690円 |
| 第二種電話柱 | | 1,500円 | 1,100円 |
| 第三種電話柱 | | 2,100円 | 1,500円 |
| 共架電線その他上空に設ける線類 | 1メートル | 10円 | 7円 |
| 地下電線その他地下に設ける線類 | 1年 | 5円 | 4円 |
| 変圧塔 | 1基1年 | 1,400円 | 1,100円 |
| 道路法(昭和27年法律第180号) 外径が0.1メートル未満のもの | 1メートル 1年 | 48円 | 36円 |
| 第32条第1項第2号に掲げる物件 | 外径が0.1メートル以上0.15メートル未満のもの | 72円 | 53円 |
| | 外径が0.15メートル以上0.2メートル未満のもの | 95円 | 71円 |
| | 外径が0.2メートル以上0.4メートル未満のもの | 190円 | 140円 |

| | | | | |
|--|----------------------------|--|--------|------|
| | 外径が0.4メートル以上 1メートル未満のもの | | 480円 | 360円 |
| | 外径が1メートル 以上のもの | | 950円 | 710円 |
| 競技会、集会、展示会、博覧会その他これらに 類する催しのために設けられる仮設工作物 | 1平方メー トル1日 | | 44円 | 11円 |
| 標識 | 1本1年 | | 1,100円 | 850円 |
| 防火用貯水槽その他これに類する もので地下に設けられるもの | 1平方メー トル1年 | | 500円 | 410円 |
| 工事用施設又は工事用材料置場 | 1平方メー トル1月 | | 440円 | 110円 |
| その他のもの | 知事が定める額 | | | |

備考

- 1 競技会、集会、展示会、博覧会その他これらに類する催しのために設けられる仮設工作物に係る使用料については、当該工作物が大規模であり、又は長期にわたり設置される場合で、知事が特に必要と認めるときは、減額するものとし、その額は知事が定める。
- 2 第一種電柱とは、電柱(当該電柱に設置される変圧器を含む。以下同じ。)のうち三条以下の電線(当該電柱を設置する者が設置するものに限る。以下この号において同じ。)を支持するものを、第二種電柱とは、電柱のうち四条又は五条の電線を支持するものを、第三種電柱とは、電柱のうち六条以上の電線を支持するものをいう。
- 3 第一種電話柱とは、電話柱(電話その他通信又は放送の用に供する電線を支持する柱をいい、電柱であるものを除く。以下同じ。)のうち三条以下の電線(当該電話柱を設置する者が設置するものに限る。以下この号において同じ。)を支持するものを、第二種電話柱とは、電話柱のうち四条又は五条の電線を支持するものを、第三種電話柱とは、電話柱のうち六条以上の電線を支持するものをいう。
- 4 共架電線とは、電柱又は電話柱を設置する者以外の者が当該電柱又は電話柱に設置する電線をいう。

三 第4条第1項各号に掲げる行為をする場合

| 区分 | 単位 | 金額 |
|--------------------------------|-----------|---------|
| 物品の販売、募金その他これらに類する行為 | 1日 | 600円 |
| 業としての写真の撮影 | 写真機1台1日 | 600円 |
| 業としての映画の撮影 | 1日 | 14,600円 |
| 興行 | 1平方メートル1日 | 11円 |
| 競技会、集会、展示会、博覧会 その他これらに類する催し | 1平方メートル1日 | 8円 |
| 花火、キャンプファイヤー等 火気を使用する行為 | 知事が定める額 | |

備考 競技会、集会、展示会、博覧会その他これらに類する催しに係る使用料については、当該催しが大規模であり、又は長期にわたる場合で、知事が特に必要と認めるときは、減額するものとし、その額は知事が定める。

別表第4 (第9条関係)

一 施設を利用する場合

| 施設の名称 | 1時間 | 1日 |
|----------------|--------|-----------|
| | | 午前9時~午後9時 |
| 茶室(茶席、和室及び立礼席) | 2,820円 | 28,290円 |
| 茶室(茶席) | 1,290円 | 12,960円 |
| 茶室(和室) | 970円 | 9,720円 |
| 茶室(立礼席) | 970円 | 9,720円 |

備考 1時間を単位として利用する場合において、利用時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間とする。

二 設備又は器具を利用する場合

| 設備又は器具の名称 | 単位 | 金額 |
|-----------|------|------|
| 茶道具 | 一個一回 | 370円 |

三 第14条第2項の行為をする場合

| 区分 | 単位 | 金額 |
|---------------------------|-----------|--------|
| 茶室及びその附帯施設内に 広告を表示する行為 | 1平方メートル1日 | 1,940円 |

別表第5 (第10条、第11条関係) (省略)

別表第6 (第16条関係) (省略)

○山梨県都市公園条例施行規則

(昭和39年5月25日 規則第34号)

最終改正 平成25年4月1日規則第20号
(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県都市公園条例(昭和39年山梨県条例第21号。以下「条例」という。)に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(使用料の納付)

第2条 条例第9条第1項の規定による使用料(以下「使用料」という。)は、前納しなければならない。

(使用料の免除等)

第3条 条例第9条第2項の規定により使用料の免除を受けようとする者は、当該許可の申請をする際に、使用料免除申請書を知事に提出しなければならない。ただし、知事が特に当該申請書の提出を不要と認めて別に定める場合に該当するときは、この限りでない。

2 条例第9条第3項ただし書の規定により使用料の還付を受けようとする者は、還付の理由の生じた日

から起算して15日以内に、使用料還付申請書を知事に提出しなければならない。

(指定管理者の指定の申請)

第4条 条例第12条第1項の規定による条例別表第5の上欄に掲げる都市公園の指定管理者の指定の申請は、指定管理者指定申請書に、次に掲げる書類を添付して提出することにより行わなければならない。

- 一 事業計画書
- 二 収支計画書
- 三 実施体制を記載した書類
- 四 団体の概要を記載した書類
- 五 定款、寄附行為又はこれらに準ずるもの
- 六 法人の登記事項証明書(法人の場合に限る。)
- 七 知事が指定する事業年度の貸借対照表及び損益計算書又はこれらに準ずるもの
- 八 前各号に掲げるもののほか、条例第12条第2項各号に掲げる基準による指定管理者の選定のため知事が必要と認める書類

(利用料金の免除等)

第5条 条例第16条第3項の規則で定める場合は、次の各号に掲げる場合とし、減額し、又は免除することができる額は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ当該各号に定める額とする。

- 一 次に掲げる者が、山梨県緑が丘スポーツ公園のスポーツ会館(屋内プールに限る。)、山梨県小瀬スポーツ公園の水泳プール若しくはアイスアリーナを個人で利用し、又は山梨県森林公園金川の森のターゲットバードゴルフ場を利用するとき。

利用料金の全額

イ 65歳以上の者(山梨県森林公園金川の森のターゲットバードゴルフ場を利用する場合にあっては、県内に居住する者に限る。)

ロ 障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条第1号に規定する障害者及びその介護を行う者

ハ 小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の児童又は生徒(土曜日に利用する場合であって、定期利用に該当しないときに限る。)

二 県が公用又は公共用として利用するとき。 利用料金の全額

三 前二号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認めたとき。 知事が相当と認める額

第6条～第7条 (省略)

(損傷等の届出)

第8条 公園施設又は設備若しくは器具を損傷し、又は汚損した者は、直ちにその旨を知事に届け出なければならない。

(書類の様式等)

第9条 都市公園法(昭和31年法律第79号。以下「法」という。)、条例及びこの規則の規定による書類の様式は、それぞれ次のとおりとする。

一 (省略)

二 (省略)

三 法第6条第2項の規定による都市公園占用許可申請書 第3号様式

四 条例第4条第1項の規定による都市公園内制限行為許可申請書 第4号様式

五 法第5条第1項及び第6条第3項並びに条例第4条第1項の規定による変更許可申請書 第5号様式

六 第3条第1項の規定による使用料免除申請書 第6号様式

七 第3条第2項の規定による使用料還付申請書 第7号様式

八 条例第12条第1項の規定による指定管理者指定申請書 第8号様式

九 (省略)

附 則

この規則は、公布の日から施行し、昭和39年5月1日から適用する。

附 則 (平成24年規則第29号)

(施行期日)

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

(山梨県都市公園条例施行規則の一部改正に伴う経過措置)

2 この規則の施行の際現に提出されているこの規則による改正前の山梨県都市公園条例施行規則第4号様式による都市公園内制限行為許可申請書は、この規則による改正後の山梨県都市公園条例施行規則第4号様式による都市公園内制限行為許可申請書とみなす。

附 則 (平成25年規則第20号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

第3号様式(第9条関係)

年 月 日

山梨県知事 殿

申請者住所

氏 名

印

都 市 公 園 占 用 許 可 申 請 書

次のとおり都市公園の占用を許可されるよう申請します。

| | |
|-------------|--------------------|
| 占用する都市公園の名称 | |
| 占用物件の種類及び構造 | |
| 占 用 の 場 所 | |
| 占 用 の 目 的 | |
| 占 用 の 期 間 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 占用物件等の管理の方法 | |
| 工事实施の方法 | |
| 工事实施の期間 | 年 月 日から 年 月 日まで |
| 原状回復の方法 | |
| 使 用 料 の 額 | 円 |
| 備 考 | |

注 設計図、仕様書及び図面(位置図、平面図、立面図、模写図、断面図等)を添えること。

年 月 日

山梨県知事 殿

申請者住所

ふりがな

氏名 印

生年月日 年 月 日

(団体にあつては、主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名及び生年月日)

都市公園内制限行為許可申請書

次の行為について、山梨県都市公園条例第4条第1項の規定により、都市公園内制限行為を許可されるよう申請します。

| | | |
|---|---|--|
| 都市公園の名称 | | |
| 行為をする場所又は公園施設名 | | |
| 行為の内容 | 種類 | |
| | 方法 | |
| 行為の目的 | | |
| 行為の期間 | 年 月 日から 年 月 日まで | |
| 原状回復の方法 | | |
| 使用料の額 | 円 | |
| 備考 | | |
| <input type="checkbox"/> 誓約等 (誓約等をする場合は、 <input type="checkbox"/> にレ印を記入すること。) | 1 この申請による行為は、暴力団の利益となるものではありません。 2 この申請による行為が暴力団の利益となると認められた場合、その許可が取り消されても異存はありません。 3 私(団体である場合には、その役員を含む。)が暴力団員等(※)又は暴力団であるか否かについて警察当局へ情報照会を行うこと及び警察当局から情報提供を受けることを承諾します。 ※ 暴力団員等：暴力団員又は暴力団員でなくなつた日から5年を経過しない者 | |

注 申請者が団体である場合は、その役員の役職名、住所、氏名(ふりがなを付す。)及び生年月日を記載した書類を添付すること。

第5号様式(第9条関係)

年 月 日

山梨県知事 殿

申請者住所

氏 名

印

変 更 許 可 申 請 書

年 月 日山梨県指令 第 号で許可になった事項を次のとおり変更したいので許可されるよう申請します。

| | | | |
|-------------------|-------|--------|---|
| 都市公園の名称 | | | |
| 許可を受けた公園施設又は物件の名称 | | 場 所 | |
| 変更しようとする事項 | 変 更 前 | 変 更 後 | |
| | | | |
| 変 更 の 理 由 | | | |
| 変更後の使用料の額 | | | |
| | | | 円 |

注 公園施設の設置及び都市公園の占用の許可に係る事項を変更する場合にあつては、変更事項を証する設計書、仕様書、図面（位置図、平面図、立面図、模写図及び断面図等）及び事業計画書を添付すること。

第6号様式(第9条関係)

年 月 日

山梨県知事 殿

申請者 住 所

氏 名

印

使用料免除申請書

次のとおり使用料の全部(一部)を免除されるよう申請します。

| | | | |
|------------------|----------------------------|-----------|---|
| 使用料の額 A | 円 | Aに対するBの割合 | |
| 免除を受けようとする額 B | 円 | 納付する使用料の額 | 円 |
| 施設又は物件の名称 | | | |
| 使用期日又は日時 | 年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで | | |
| 使用の目的 | | | |
| 団体の場合はその名称及び参加人員 | | | |
| 申請の理由 | | | |
| 備考 | | | |

第7号様式(第9条関係)

年 月 日

山梨県知事 殿

申請者 住 所
氏 名

印

使用料還付申請書

次のとおり使用料の全部(一部)を還付されるよう申請します。

| | | |
|------------------|-----------|---|
| 納付済使用料の額 | | 円 |
| 還付を受けようとする額 | | 円 |
| 許可を受けた施設又は物件の名称 | | |
| 許可の年月日及び番号 | 年 月 日 第 号 | |
| 申請の理由 | | |
| 後日の使用料に充当することの有無 | | |

第8号様式(第9条関係)

年 月 日

山梨県知事 殿

所在地

団体の名称

代表者の氏名

印

電話番号

指定管理者指定申請書

次の都市公園の指定管理者の指定を受けたいので、山梨県都市公園条例第12条第1項の規定により、必要書類を添付の上申請します。

都市公園名： _____